

■実施報告

「金融教育研究発表会（神栖市立神栖第一中学校）」（10月13日開催）

【学校の特徴・概要】

神栖市立神栖第一中学校は、「確かな学力を身に付け 心豊かな たくましい生徒の育成～自主・協働・向上～」を掲げ、生徒たちの自主的・自律的な活動を推進しています。

今回、研究主題を「社会的・職業的自立に向けた金融教育の在り方」、副主題を「キャリア教育と関連付けた教育活動を通して」と設定し、金融教育とキャリア教育を関連付けた教育活動を通して、生徒の社会的・職業的自立を促すための金融教育について研究を進めてきました。

〈主な研究内容〉

- 各学年のキャリア教育の取組を金融教育の目標を踏まえて整理
金融教育とキャリア教育との接続の方向性を明確にするため、「キャリア教育に関する分野」における「ア働く意義と職業選択」「イ生きる意欲と活力」「ウ社会への感謝と貢献」の各分野の目標を踏まえて、教育活動を進めました。
- カリキュラム・マネジメントの充実
「教科等横断的な授業」「外部人材との連携」「教育実践の評価・検証」を柱とする、カリキュラム・マネジメントの充実を図ることで、教育活動の質の向上に努めました。特に、各学年で外部機関と連携を図って、金融教育の充実に努めました。
- 生徒会による啓発活動
サブテーマ「Do you Can you 金融?～これからの未来を創造しよう～」を設定し、集会活動や放送、掲示物等で金融教育に関する啓発活動を生徒主体で行いました。

10月13日（木）に金融教育発表会を開催し、研究校として2年間（令和3・4年度）金融教育に取り組んできた成果を発表した他、全学年で総合的な学習の時間の公開授業を開催しました。

〈参加者内訳〉

生徒 209 名、開催校教員 23 名、教育委員会 3 名、他校教員 37 名、金融広報委員会 3 名
合計 277 名

1. 公開授業

(1) 総合的な学習の時間（1学年）

「育てたサツマイモの販売で利益を出すには？」

1学年では、昨年度まで、田植え・稲刈り中心に行っていた農業体験活動に、自分たちで栽培したサツマイモを販売する活動を加えました。生徒が「経理部」「生産・管理部」「ラッピング部」「宣伝部」「販売部」の5つの担当に分かれて、それぞれに利益を上げるために必要な工夫を考えることを通して、金融教育の学びがより深まるようにしました。

当日の授業では、農業体験でお世話になった事業所の方を助言者として招き、各部ごとに考えてきた利益を出すための工夫を、助言をもとにして再検討する時間となりました。プロの視点からの考えを聞いたことで、より効果的な販売促進のために、付加価値が必要なことを理解し、収入を得るためには努力が必要なことを実感できたとともに、販売に向けて意識や意欲が高まる貴重な時間となりました。



(2) 総合的な学習の時間（2学年）

「キャッシュレス決済のメリット・デメリットは？ ～わたしたちの未来を考えよう～」

2学年では、コロナ禍で地元事業所での数日間実施の職場体験学習の調整が困難な中で、大手 IT 企業が有する金融教育プログラムを利用し、キャッシュレス決済に着目し、金融教育についての学びを進めてきました。夏休みには、少人数のグループに分かれて、地元事業所へのフィールドワークを行い、キャッシュレス決済の現状と課題について調べました。

当日の授業では、グループごとにこれまでの学習の報告会を行ったことで、キャッシュレス決済のメリットやデメリットについての理解が深まり、今後の自分たちがどのような視点で決済方法を選択するべきかを考えることができました。



(3) 総合的な学習の時間（3学年）

「資産は増やせた？～投資のポイントを探ってみよう～」

3学年では、これまでの起業体験に金融の視点を取り入れた、投資疑似体験を中心にし、金融教育に取り組みました。投資シミュレーションアプリを利用した投資疑似体験を行う中で、投資の仕組みを理解し、利益を上げるための根拠について考えてきました。

当日の授業では、大手企業から招いたアドバイザーの助言をもとに、投資の分析会を行い、できるだけ損益を出さずに運用するための方法を考えることで、投資には社会情勢等をみる力や、リスク管理をする力が必要なことを学びました。今後は、投資家に見立てた1年生・2年生からシミュレーションで資金を調達し、株式運用を更に進めていき、お金の面から社会の発展について考えていきます。



2. 全体会

研究主任からこれまで2年間の研究の概要や成果と課題について発表しました。また、生徒会役員から各学年の総合的な学習の時間や各教科での実践、自分たちが行ってきた集会や放送等による啓発活動の具体的な実践について、スライドや動画を使って発表しました。研究発表会の発表を生徒が行うことは、異例の試みではありましたが、生徒の社会的・職業的自立をめざした本研究のまとめとして、最適な形になったと感じています。



3. プログラム

13:20～14:10

公開授業

(1) 総合的な学習の時間（1学年）

「育てたサツマイモの販売で利益を出すには？」

(2) 総合的な学習の時間（2学年）

「キャッシュレス決済のメリット・デメリットは？～わたしたちの未来を考えよう～」

(3) 総合的な学習の時間（3学年）

「資産は増やせた？～投資のポイントを探ってみよう～」

14:20～15:40

全体会

主催者挨拶	茨城県金融広報委員会副会長	上野 淳
	神栖市教育委員会教育長	新橋 成夫 先生
	神栖市教育会会長	林 雄一 先生

研究発表

・概要について

神栖市立神栖第一中学校 研究主任 柳瀬 武史

・質疑応答

同

教務主任 染谷 伸一

・実践について

同

生徒会本部役員 7名

講師指導

神栖市教育委員会教育指導課指導主事	川久保 尚 先生
茨城県金融広報アドバイザー	平澤 浩子 先生

謝辞

神栖市立神栖第一中学校長	中田 信二
--------------	-------

以 上